

信仰について③しもべとしての信仰(1)

ルカの福音書17:7-10
2013,9,15 HKJCF

概観

- 序)①教会のリーダー:僕 ②現代の教会の課題:僕の心=イエス様の心の欠如
③違和感ある聖書箇所が成長の機会
- 1、しもべとしての信仰
 - 2、現代の教会の課題
 - 3、愛が当然となるために
 - 4、適用と祈り

I しもべとしての信仰

- 1、仕事だけでは十分ではない 神と人を愛することがキリスト者の本業 v7-8
- 2、愛の奉仕は慈善やボランティアでなく神の子(しもべ)の当然な生き方 v9
- 3、真に良いもの神様から受けているので自ら誇れるものは何もない v10
⇒私たちの本業は愛です しかも真の愛は神様から受け、人々に分かち合うものです 『愛は当然で自然です』 ヨハネ15:5

II 現代の教会の課題

- 1、生産者:愛を造り出そうとする人
- 2、消費者:何か一つ欠けている人
(聴衆・被害者・評論家・ボランティア・趣味人・応援団・ボス・政治家・教会のお母さん・仲良しクラブ員・人気者・放送局etc.)
⇒愛する時のみ自立、愛する時のみ有益
- 3、供給者:神様からの愛を分かち合う人
⇒現代の教会の必要は愛の供給者=僕
『しもべとしての主』 ピリピ2:1-11

III 愛が当然となるために

- 1、イエス様の愛の実感(十字架体験)
- 2、聖霊により主を人生の主とする(献身)
⇒①キリスト者にとって愛は神の恵みへの当然な応答 ②赦さないこと、仕えないことは不自然 ③この恵みは神様から出ており、私たちが誇れる善・能力・愛はない
⇒愛が当然と受取れたら(神から・自己の成長)真の自由へ(「キリスト者の自由」ルター) 真の自立・自由=愛する自由
ヨハネ13:5

IV 適用と祈り

- 1、主は王の王、しもべ中のしもべ→救い
- 2、ご聖霊は謙遜なしもべの霊→献身
- 3、愛の当然を主張される主は「良くやった忠実なしもべよ」とも言ってくださる
- 4、キリスト者の本質は愛ゆえの僕であり、「僕としてのリーダー」と言うより「リーダーの役割を一時与えられている僕」である
⇒主よ、私を僕(謙遜な献身者)と造り変え、上・内・外と愛の供給者にして下さい